

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	27-1	
PDCA	主要事業名	雨水整備事業	部課名	水道部下水道課	担当	山本	
					内線	481	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 1 単位施策： 防災・減災 全体事業期間： 令和 4 年度 ~ 4 年度 全体事業費等： 882,447 千円					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用	
	会計 下水道事業会計 歳出科目： 01.01.02（資本的収支）						
	事業概要等	事業概要：	市民の生命や財産を守るため、計画的な下水道施設の整備や既存の雨水排水機能の維持に努め、浸水被害の軽減を図る。				
		事業目的：	浸水被害を軽減し、雨に強いまちをつくる。				
		事業内容：	ストックマネジメント計画に基づき、施設の老朽化が進んでいる北浜田、若宮排水ポンプ場の改築・更新工事及び若宮排水ポンプ場の耐震工事を実施する。				
		問題点・課題等：	都市化の進展や想定を上回る集中豪雨が多発しており、浸水被害のリスクが高まっている。等： る。				
	予算額	主要事業とする理由					
	882,447 千円	市民の生命や財産を浸水から守り、安心・安全で快適な生活を送れるよう、雨に強いまちをつくる必要がある。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費	浸水対策の最重要施設である排水ポンプ場の排水能力の維持及び地震に対するリスクの軽減。					
6,849 千円	目標値や目指すべき状態						
国費	雨に強いまちを創ります						
356,198 千円							
県費							
36,600 千円							
その他							
482,800 千円							
D 実績得られた成果と	決算額	得られた成果					
	513,909 千円	ストックマネジメント計画に基づく、北浜田・若宮排水ポンプ場の改築・更新工事を実施するにより排水機能が維持された。また、若宮排水ポンプ場については、耐震工事が完了し、地震によるリスク対策がなされた。					
	財源内訳	成果指標					
	市費	雨に強いまちを創ります					
	5,220 千円						
国費							
151,449 千円							
県費							
165,240 千円							
その他							
192,000 千円							
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 老朽化が進むポンプ場施設において、ストックマネジメント計画に沿って北浜田・若宮排水ポンプ場の改築・更新を実施し排水機能を確保することができた。 安全対策として、国は令和7年度までに「想定最大規模降雨の浸水シミュレーション」による浸水想定区域図を市民に周知するよう示してきており、更なる調査や台帳作成等の新たな事務が必要となる。					
A 課題解決の方向性	今後の事業の方向性	改善推進 老朽化が進んでいる排水ポンプ場については、引き続き施設の改築・更新、耐水化、耐震対策を進めていく。また、雨水管理方針において重点対策地区となった港、前潟、東成岩排水区については、早期の対策が重要であり、必要となる事業費を確保していく。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余地	※手段の変更
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない		